



SSKP
つくつく通信
No.70

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集~「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

夏來たりなば 秋は遠く……

今年の夏は、あらためて言うまでもなくメチャクチャ暑かったです。

エアコンのないつくしんぼです。「風通しがよくていいじゃない」とよく皆さんに言ってもらいますけど、それでも限度があります。家庭用の扇風機にまぎつて、工場などで使う業務用扇風機までがパンパン羽根を回していました。今年は扇風機にこだわる子が一人もいなくて助かりました。(^^;)

学校のある日の活動より、夏休み期間は毎日の参加人数が増える傾向にあります。となると、毎年頭を悩ますのが、日々のスタッフ不足。今年は、人手不足でボランティア探しに四苦八苦するよりはと早い頃からアルバイトを募集した結果、おかげさまで全活動日にスタッフを増員



恒例
流しそうめん大会

することができました。毎週木曜日に企画したすみれ会館の開放を利用してのプールも、スタッフが足りなくて困るということもありませんでした。それでもとんでもないことをする子どもの動きにはついていけず、監視員のお兄サンに怒られればかりいましたが……。(^^;)

法政の学生さん達にお願いしての大地沢一泊も、夕涼み大会や流しそうめん大会などの親子イベントも問題なく楽しめた夏休みでした。なんにもなくてめでたしめでたし、って感じかな。(^o^)

あともう少しの間、暑い日が続きそうです。(これを書いている今日も気温が32℃を超えています) 今年はなぜか台風もバンバンやってきて、ほんとに変な夏だったような気がします。

だけど、遠いと思っていた秋ももうすぐそこです。夏バテしないようにと食べた分の体重を早く落とさなければ……。



「つくしんぼホームページ」アドレスは <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> です

夏の大地沢一泊

今年もPurepureさんに
お願ひさせて頂きました。
サークルの皆さん、ありがとうございました。

私たちPurepureは、法政大学 現代福祉学部の学生で構成されるサークルです。つくしんぼ

とのお付き合いの始まりは、サークル創設メンバーの現4年生が1年生のときにさかのぼります。「ボランティアとテニス、両方やっちゃあう!」という、山下さん曰く“安易な考え方”によってサークルを結成したばかりの頃、町田のボランティアセンターで紹介されたのがつくしんぼでした。それ以来、マイペースながらつくしんぼにうかがい、子どもたちにとって『ときどき来て一緒に遊ぶお兄さん お姉さん』をさせていただいています。

7月30～31日には大学近くの大地沢青少年センターで、子ども9人、職員さん3人、サークル員25人という大人数で、1泊2日の合宿をしてきました。やきそばを食べたり花火をしたり、大きなお風呂に入ったりと、みんなでわいわい過ごしました。

3階建てのキャビン内を汗びっしょりになりながらひたすら追いかけっこをしたり、肩車をしてもらい「走って走って!」とねだり続けたり、疲れ知らずな子どもたち。それに対し、大学生は息を切らして「もうダメ…」と床に倒れこんだり、肩車のしすぎで肩の痛みを訴えたり、ボロボロの完敗でした。それでもねだられると、子どもの言葉や表情にメロメロになり、「よし、行くぞ!」と再び頑張ってしまうという、まさに骨抜き状態な1泊2日でした。

私がつくしんぼと出会ったのは、あととしの4月でした。つくつくっ子たちの最初の印象は、とにかく「みんな自由だな~」ということです。つくしんぼの建物や庭



大地沢本館前にて

じゅうをノンストップで縦横無尽に走り回り、心の赴くままに遊んだり歌ったりしゃべったり…。とても不思議で、かわいい子たちだと思いました。

でも、何度もつくしんぼにうかがって、子どもと一緒に遊んでいる(子どもに遊んでもらって…という方が近いかもしれません)うちに、ひとりひとりみんな違うなあと感じるようになりました。そして、パニックになってしまふ子の様子を見たりするうちに「ひょうひょうとしているように見えるけど、この子たちは伝えたいことがたくさんあるんだろうな」と思い、子どもたちがどんなことを感じて、どんなことを伝えたいのか、知りたいと思うようになりました。

大学に入るまでは『自閉症』という言葉を少し聞いたことがあるという程度だった私ですが、つくしんぼに出会ったことをきっかけに、児童心理を学ぶゼミに入り、将来はS.T.になって障害児と関わっていきたいと考えるようになった近ごろです。

最近は2、3ヶ月ぶりに会うとみんなの背がぐんと伸びて、精悍な顔になっていました。特にひろきくんが声変わりしていたときには本当に驚きましたが、天使の歌声は健在だったので安心しました。

つくしんぼの子たちと遊んだ日は、体はくたくたになりますが気持ちがとても元気になれるような気がして、これがすごく魅力です。つくつくっ子たちの笑顔に私たちPurepureは骨抜きにされ続けるのだと思います。これからもどうぞよろしくお願ひします。
(泉山 記)



今回のキッズタイム は、コウキくんです。

こうきは障がい児学級の1年生です。自閉症児です。4月の入学と同時につくしんぼにも通いはじめました。

入ったばかりの頃は、つくしんぼ名物(?)の木の枝ブランコがとても気に入ったようで、着くとまずブランコに乗りました。自分で揺らすことができないので、職員さんにたびたび「ブランコ押してくださいさあーい!!」とお願いしていました。

慣れるまでは親子活動をしていましたが、はじめて母と離れる時に「お母さん行かないでー」なんて泣かれてしまったらどうしようと心配しました。しかし余計な心

配だったようです。「バイバーイ」とあっさり言わってしまいました。なんだかうれしいような寂しいような…ちょっと複雑な心境でした。

「つくしんぼで何をして遊んだの?」と聞いてみると「おやつ食べた」と答えます。「他には?」と聞いてみると「むずかしい」とおやつのことしか答えてくれません。学校でも毎日給食をおかわりするほどの食いしん坊。つくしんぼでもおやつのことが一番印象に残ってしまうのでしょうか…。

最近はパソコンでゲームをすることにハマっているようです。マウスを動かす姿もなかなか板についてきたように見えます。

これからも毎日元気につくしんぼに通い、いろんな経験をして成長していくければ…と願っています。



8月の1ヶ月間、アルバイトでお世話になりました。私は、幼稚教育学科に通う短大の2年生です。学校の実習で、知的障害児施設へ行ったことをきっかけに、障害を持った子ども達に興味を持ち始めました。ホームページでつくしんぼのことを知り、「これだ!!」と思って電話しました。

はじめは、楽しみだなという気持ちの反面、子ども達と仲良くなれるかな…という不安な気持ちがありました。声をかけてあまり相手にされなかつたりで戸惑うことも多かった私ですが、最後の頃は子ども達から近寄ってきてくれたり「お姉さん」「原

さん」と読んでくれるようになりました。(全員ではないですが)

もうすっかり仲良しこよし(?)と勝手に思っている私。子ども達と遊ぶのが楽しくて……といっても私が遊んでもらっているという感じなのですが…。(笑)

たまに私がでしゃばり過ぎで邪魔をしてしまうこともあったりもしますが、とにかく、一人ひとりが可愛くて仕方がないという状態です。子ども達と一緒にいると自然に心が和み、閑静が豊かになっていきます。つくしんぼに来て、毎日癒されているという感じです。

それだけではなく、つくしんぼでは学ぶこともたくさんありました。子どもの目線に立って考えてみるということや、子ども達のペースで一人ひとりに見合った接し方を心がけることなど、さまざまな大切なことを学びました。

この夏休み、つくしんぼで経験できたこと、学んだことは、一生の思い出です。あまりお役に立てなかったと思いますが、さまざまなことを経験させて頂き、ありがとうございました。



つくつく通信の裏表紙



前号のつくつく通信のこのページ上に、職員募集の記事を掲載したところ、毎号通信をお送りさせて頂いてる方の一人から紹介を頂き、お蔭様で9月からの新職員を採用することができました。

ところがです。この募集記事にクレームがつきました。女性を捜していると書くのは男女雇用均等法に抵触していると言いたいらしいのです。

しかもそのクレームは、つくしんぼに直接きたわけではなく、わざわざ町田市障がい福祉課に匿名電話をかけてのものでした。

つくしんぼに通ってくる子には当然、男の子と女の子がいます。そして、つくしんぼの職員の仕事にはトイレ介助もあります。つくしんぼには男女職員がいますが、今回つくしんぼでは女性職員が不在になって困っていました。ゆえに通信上で女性職員を捜している旨を掲載した次第です。

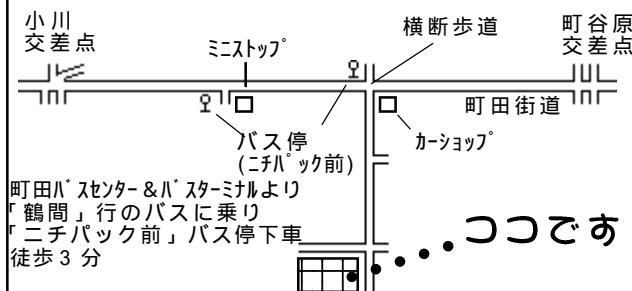
ちなみに、市報掲載やハローワーク依頼の際に男女の件には触れたことはありません。

とある知り合いの専門家に伺ったところ、私報である通信上におけるお願い記事であり、理由としても正当であると理解されるものゆえ、法に触れることはないとのことでした。

【均等法参考資料】

(1) 次に掲げる職業に従事する
2 指針の適用除外～次のい 労働者に係る場合(抜粋)
すれかに該当する場合について ウ 宗教上、風紀上、スポーツでは、男女異なる取扱いをする 競技の性質上その他の業務の性
ることに合理的な理由がある 質上いずれか一方の性に従事さ
ものと認められ、この指針は せることについて必要性がある
適用されません。
と認められる職業

♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分弱です

《ボランティア》寄付ありがとうございました

佐藤様、志賀様、堀内様、神谷様、高尾様、渡辺様、大石様、新美様

福井様、飯塚様、高尾様、林様、中井様、越村様、田辺様、杉本様、
原様、十亀様、江幡様、田後様、江渡様、金杉様、北野様、山上様、
牟田様、杉本様 大梶様、服部様、松田様 後藤様、松田様、飯田様、
小池様、近藤様、佐々木様、高橋様、最上様、橋本様、渡邊様、鈴木様、
川様、鈴木様、泉山様、山口様、佐藤様、新井様、佐藤様、田中様、
有坂様、大澤様、谷様、丸尾様、渡辺様 サイドバイサイド様

(7月～8月)

つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を受けてはいますが、運営面で苦しいのが現状です。

よろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんでしょうか。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させて頂きます。よろしくお願ひできましたら幸いです。

郵便振替口座番号
00120-7-168283
加入者口座名称
フリースペースつくしんぼ